

## 第9回 奈良県動物愛護管理推進協議会 議事要旨

【日 時】 令和2年8月4日（火） 14時00分～16時00分

【場 所】 奈良文化会館 多目的室

【出席者】 協議会委員 伏見 誠、大和 悟、山内 祐司、松原 健次、  
藤井 幸雄、田中 裕之

奈良県 事務局（奈良県文化・教育・くらし創造部消費・生活安全課）

### 【議事次第】

1. 会長選出
2. 動物愛護推進員の活動状況・活動支援について
  - ・活動内容の傾向
  - ・個々の活動事例の紹介
  - ・イオンモールでのイベントの開催について
  - ・なら動物愛護フェスティバルの開催について
3. 奈良県動物救護本部設置要綱について
4. 動物愛護推進員の推薦・委嘱について

### 【配付資料】

- ・資料1 令和元年度 奈良県動物愛護推進員活動実績報告
  - ・資料2 考えよう！人とペットの災害対策（チラシ）
  - ・資料3 第38回なら動物愛護フェスティバル概要（案）
  - ・資料4 奈良県動物救護本部設置要綱
  - ・資料5 避難所におけるペット受け入れ検討の手引き
  - ・資料6 動物愛護管理推進協議会・動物愛護推進員スケジュール（案）
- 
- ・参考資料1 動物の愛護及び管理に関する法律（抄）
  - ・参考資料2 奈良県動物愛護管理推進協議会設置要綱
  - ・参考資料3 奈良県動物愛護推進員設置要綱

## 【議事要旨】

### 1. 会長選出

奈良県動物愛護管理推進協議会設置要綱第4条第1項に基づき、委員の互選により、会長に田中委員が推薦され承認。

同第4条第3項に基づき、伏見委員を会長代理に指名。

### 2. 動物愛護推進員の活動状況・活動支援について

#### 「活動内容の傾向」

(資料1. 1ページに基づいて説明)

#### 「個々の活動事例の紹介」

(資料1. 2-3ページに基づいて説明)

#### 「イオンモールでのイベントの開催について」

(資料2. に基づいて説明)

推進員活動において、推進員同士や推進員と行政との連携はまだ限られている。行政主催イベント等で連携を広げていく予定。

(意見)

- ・奈良県獣医師会では、今後 VMAT（災害派遣獣医療チーム）に取り組んでいく。その中で、他団体や行政と連携が必要と考えているので、積極的な連携をお願いしたい。
- ・熊本県の令和2年7月豪雨でも、被災地の情報収集に推進員が活躍されたと聞いている。災害に備える意味でも、推進員同士や行政との接点の持ち方が大切となる。

#### 「なら動物愛護フェスティバルの開催について」

(資料3. に基づいて説明)

啓発活動を行う上で、新型コロナウイルス感染症感染予防対策が必要となる。イオンモールでのイベント開催時は、施設管理者への体調報告、来場者との接触制限、手指消毒用アルコールの設置、対面相談用ビニールカーテンの設置等の対応を実施した。

動物愛護フェスティバルについても、イオンモールでの対応を参考に実施予定。

(意見)

- ・動物愛護の心を育むことが目的の活動は、継続していくべき。
- ・継続するうえで、入場制限やイベント内容への配慮が必要。
- ・活動をやめるのではなく、その時の状況に応じて対応していくべき。
- ・IT化などにより、接触人数は減らすこともできる。
- ・フェーズごとに対応を変える必要がある。

### 3. 奈良県動物救護本部設置要綱について

(資料4. に基づいて説明、資料5. について紹介)

(意見)

- ・熊本県の令和2年7月豪雨の現場では、県の方針等が末端まで届いていないようだった。トップダウンだけでなくボトムアップによる周知も必要。
- ・災害時も新型コロナウイルス感染症への対策が必要となり、避難の仕方も変わってきているように思う。在宅や車中泊が増えることで、所在確認が困難になってきているのではないか。
- ・行政の防災を担当する課でもペット対策の必要性は認識されている。さらなる取組が必要。
- ・避難所でのペットの預かり場所など、発災時に急には決められない。事前の検討が必要。
- ・避難所運営者だけでなく、学校長など、施設長も判断を求められることが多い。対象者へ情報提供することは心構えにつながる。

### 4. 動物愛護推進員の推薦・委嘱について

(資料6. に基づいて説明)